



地域の人びとが集う場所

経営学部マネジメント総合学科 准教授 辻智佐子

11月2日、日曜日。この日は、地域の特色を生かした、たくさんのイベントが全国各地で開催された。たとえば、ななえ町(北海道)の「オール物産グルメフェア」、大郷町(宮城県)の「収穫感謝祭・ファミリーマラソン大会」、大田区(東京都)の「OTAふれあいフェスタ2014」、室戸市(高知県)の「灯台まつり&産業祭」、鹿屋市(鹿児島県)の「かのや・ばら祭りウオーキング大会」、石垣島(沖縄県)の「石垣島まつり2014」。挙げれば切りがないほど、日本の北から南までイベント満載の日だった。

この「地域の人びとによる地域のための日曜日」に、城西大学水田記念図書館では地域相互協力図書館合同主催の公開講座が開かれ、わたしは幸運にも「地域産業の現在： JAPAN ブランドによる今治タオルの復活」というテーマで、地域の方々に話をする機会に恵まれた。ここ4、5年、今治タオル工業を事例に戦後の地域産業の歴史を「産業集積」という観点から追ってきたが、その成果の一部を何かに還元したいという思いと、地域間交流の活性化につながるような活動がしたいという思いがあり、この2つの思いがこのたびの公開講座をとおしてかたちになった。

公開講座には、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、越生町、毛呂山町の図書館長および図書館関係者の方々、そして今治市立図書館からも「タオルびと」※でいつもお世話になっている方が駆けつけてくださった。会場には、タオルの展示をはじめ、今治タオル関連の文献・資料、今治市立立花中学校の生徒たちが作成した「今治タオルの今昔」のパネル、戦後の懐かしい今治市の写真パネル、さらに「おらがまちのいいもの紹介」コーナーでは上記近隣市町の特産物などが賑やかに展示された。「おらがまちのいいもの」のなかには、城西大学が地域と連携した物産もあり、「休耕地活用プロジェクト」の日本酒や坂戸市とのコラボ商品の担々麺なども置かれ、場を大いに盛り上げてくれた。

公開講座は、終始アットホームな雰囲気の中で、無事幕を閉じた。これも、ひとえに水田記念図書館の方々のサポートがあつてのことであり、また地域の人びとが集まれる場所があつてのことである。そこで、ふと思った。「図書館、そこは、地域の人びとが集う場所である」と。

※ 「タオルびと」は、戦後、今治タオルの生産に携わってきた人たちを一人ずつとり上げてインタビューし、それをもとに記事にしたものである。戦後、今治のタオルがいかんにして日本一のタオル産地になり得たのか、「ひと」に焦点を当ててその理由を探っている。「タオルびと」は、毎月16日に今治市立図書館のホームページから配信中。
サイトはこちら→<http://www.library.imabari.ehime.jp/towelbito/>

12月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

図書館開館時間

□=9:00~21:00

■=9:00~19:00

□=8:30~21:00

■=9:00~17:00

□=休館日です

12/29~1/3は年末年始のため休館です。

1/17、18はセンター試験のため休館です。

1/14~2/10は読書館が早開館期間です。

地域アドバイザーが発足しました

水田記念図書館は地域に開かれた大学図書館として、一般の方も大勢利用しています。その中から本好きの方々に「地域アドバイザー」として集まっていただきました。

これから読書推進運動として、おすすめの本の展示や学生との語りなど、様々な企画を行っていきます。



委嘱式にて館長・副館長と地域アドバイザーのみなさん

馬場さん（健康市民大学）

毎日楽しく聴講で学んでいます。皆さんから Power をもらっています。地域アドバイザーの活動で、皆さんに3倍の恩返しをしたいと考えています。

市川さん（健康市民大学）

健康市民大学で健康・運動の勉強・実践をしています。また経済学・心理学にも興味があり勉強を続けています。中高年の立場で何か協力できるよう頑張ります。

平澤さん（ライブラリーカード会員）

学生時代は睡眠時間も削って勉強しました。就活や勉強を必死にやってみてはどうですか。今から、即でしょう。それが一番の条件です。経験を活かした、アドバイスができればと思います。

大串さん（ライブラリーカード会員）

教員としての経験を活かして、大学生の皆さんに本の素晴らしさ・面白さを伝えていきたいと思っています。

鈴木さん（健康市民大学）

健康市民大学で5年間受講しています。困ったことがありましたらどんなことでもお気軽に声をかけてください。親身になってお手伝いします。

松本さん（ライブラリーカード会員）

米国で教員をしながら50年間暮らし、一人で米国一周もしました。米国での経験を活かし、日米比較文化や英会話などのアドバイスができればと思います。

丹羽さん（ライブラリーカード会員）

50年前、卒業後社会人に成ってから、再度自分探しをするため、猛烈に本を読みました。上司の勧めで、主に英語に慣れるため、自分の好みで Alan Bullock の「Hitler; A Study in Tyranny」、岩波文庫「トム・ジョーンズ」、ロバート・シャウウッドの「ルーズベルトとホプキンス」そしてバートランド・ラッセルの岩波文庫「数理哲学序説」などに挑みました。主な仕事は、小企業でしたが、システム開発と運用。使用言語は RPG, Assembler, COBOL。そして最後の10年間は EXCEL 関数との格闘で仕事人生を終えました。読書の素晴らしさをお伝えできたらと思います。

学生アドバイザー通信

メールアドレス: libadvis@josai.ac.jp

ホームページ: <http://libopac.josai.ac.jp/apply/adviser.html>

「図書館から始める就活」を開催しました。

就職課共催の就活応援プロジェクト「図書館から始める就活」を11/12(水)~14(金)の3日間で開催し、合計37名が参加してくださいました。

就職活動を経験した学生アドバイザーを中心に、図書館の資料を使った企業分析・業界分析の方法などを解説したところ、参加者からは「就活の参考になった」「就職活動への意欲が高まった」「現役で就活をしている4年生の生の声が聞けてよかった」などの感想が寄せられました。

アドバイザー自身の経験が後輩の役に立った事を、とても嬉しく思っています！

これと連動して、図書館1階のアドバイザーコーナーでは、就活本紹介コーナーも展開中です。また、皆さんが就職活動をするうえで役に立った図書館の情報を共有する掲示板もあります。是非、活用してください。



学生選書 2014 Part2 を開催しました



学生選書は図書館の本を学生に選んでもらうイベントです。7回目となる今回は10月24日(金)に行われた講演会「知っておこう著作権」と連動して行い、講演会に関連した著作権に関する本や、様々な分野の新刊書、合わせて約700冊の中から合計71点の本が選ばれました。

今回は
来年春ごろ
開催予定です

選書された本とコメント (ほかにもたくさんコメントを頂きました。すべて1階にて展示中です)

ファーストペンギンの会社
デジタルガレージ 著
開架図書 (3階) 007.35//D54

インターネットの成長とともに成功してきた会社。未知の需要を予測して取り組む“ファーストペンギン”精神を学べそう。

財務会計の現状と展望
倉田 幸路 編著
開架図書 (3階) 336.9//Ku56

会計基準の国際的コンバージェンスが進められている現在、各国の会計基準の差異に焦点を当て書き進められている本書は非常に参考になると思う。

なぜ伝わらない、その日本語
野田 尚史 著
開架図書 (2階) 816//N92

日常目にするような文章が例として載っており、伝えたいことを限られた文章量で伝えるための参考になる。

新コーナーのご案内

NEW! 姉妹校関連図書コーナー

1階カウンターそばの「姉妹校関連図書コーナー」にて城西大学海外姉妹校からの寄贈図書およびパンフレットを置いています。ぜひお手に取ってご覧ください。図書は貸出可能です。



NEW! 教員おすすめ図書コーナー

9-10月の展示「学生に読んで欲しい教員おすすめ本」を、独立したコーナーとして新たに1階階段脇に設置しました。教員の推薦コメント付きで紹介しています。



図書館新企画! 『ライブラリーラウンジ』

ラウンジにいるようなリラックスした中で、講師と楽しい時間を過ごしませんか。

第1回ライブラリーラウンジ

人生の先輩と本について語ろう

- ◆講師：丹羽 秀二郎さん (地域アドバイザー)
- ◆日時：2014年12月8日 (月) 15:10~16:40
- ◆場所：図書館6階グループ学習室B室
- ◆申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

第2回ライブラリーラウンジ

ゲームで数学の楽しさを解き明かしてみよう

- ◆講師：小木曾 岳義 先生 (理学部数学科教授)
- ◆日時：2014年12月22日 (月) 15:10~16:40
- ◆場所：図書館6階グループ学習室B室
- ◆参加申込先：図書館1階カウンター

またはメール：library1@josai.ac.jp

「城西大学読書感想文コンテスト2014」の審査結果

読書感想文コンテストへのご応募ありがとうございました。部門1(中学生・高校生の部)は22名、部門2(大学生・短大生の部)は44名の応募がありました。図書館運営委員、図書館選書委員の先生方に審査をお願いし、第一次審査から第三次審査まで厳選な審査の結果、グランプリ1名、優秀賞5名が決まりました。

グランプリ

「大切なもの」 大湊 菜々さん(さいたま市立大谷中学校3年)
書名:『銀盤のトレース』(碧野 圭 著)

優秀賞

<部門1 (中学生・高校生の部)>

「西の魔女が死んでしまっても」小澤 摩希子さん(川越市立霞ヶ関東中学校3年) 書名:『西の魔女が死んだ』(梨木 香歩 著)

「マンモス復活!」大湊 空さん(さいたま市立大谷中学校1年) 書名:『マンモス復活大作戦』(後藤 和文 著)

<部門2 (大学生・短大生の部)>

「21歳男子、過疎の山村に住むことにしました」を読んで」成田 祐真さん(城西大学現代政策学部2年)
書名:『21歳男子、過疎の山村に住むことにしました』(水柿 大地 著)

「私の原点」小山 夏美さん(城西大学現代政策学部4年)
書名:『あきらめない:働くあなたに贈る真実のメッセージ』(村木 厚子 著)

「ホタル帰る」林 菜奈さん(城西大学現代政策学部1年)
書名:『ホタル帰る:特攻隊員と母トメと娘礼子』(赤羽 礼子, 石井 宏 著)

図書館彙報

12月の展示

「WORK 一働くを考える」

なぜ働くのか考えてみたことはありますか。展示では、「働く」ことの意味や現場で働くプロフェッショナルの声を集めました。多くの考え方や生き方を知って、働く意味や自分の生き方についてちょっと考えてみませんか。

卒論応援キャンペーン

場所:図書館1階カウンター

期間:11/25(火)~12/25(木)まで

資料探しや引用相談、「困った」に合わせてナビします。

「本の探し方がわからない」「雑誌や新聞から関連記事を効率よく探せない」「実は何からはじめていいかわからない」あなたの困ったに合わせてナビします。まずは何でも訊いてみましょう。

6階グループ学習室B室に電子黒板を設置しました。

電子黒板は専用の電子ペンによって、ボードに投影した資料の拡大や移動、書き込みができるツールです。ご利用の際は図書館1階カウンターにお問い合わせください。

- 11月2日 域相互協力図書館合同主催公開講座「地域産業の現在:JAPANブランドによる今治タオルの復活」を開催し、54名の方が参加しました。
- 11月3日 学生アドバイザー主催「知的書評対戦ビブリオバトル高麗祭城西大会決勝」を開催しました。オープンキャンパスを開催しました。
- 11月5-7日 パシフィック横浜で開催された第16回図書館総合展のポスターセッションに参加しました。
- 11月10-14日 就活DVD上映会を開催、合計で97名が参加しました。上映したDVDは館内でも視聴できます。
- 11月12, 14, 20日 埼玉県大学・短期大学図書館協議会Open Library Weeksで立教大学、獨協大学の見学と淑徳大学のラーニング commonsへの取り組みに関する研修会に参加しました。
- 11月12-14日 学生アドバイザー企画・就職課共催 就活応援プロジェクト「図書館から始める就活」を開催、合計で33名が参加しました。
- 11月18日 図書館員のキャリア研究フォーラム2014年度第4回研修会において、「ビジョンを実現する司書キャリアとは?」に参加しました。

図書館見学 埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校8名(11/8) 埼玉県立飯能南高等学校4名(11/21)
埼玉県立川越初雁高等学校30名(11/28) 長野県上田千曲高校7名(11/29)

©編集・発行 城西大学水田記念図書館 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 電話049-271-7736 FAX 049-286-8126